

2024年9月1日
9月第一主日礼拝式／聖餐式



139 わたしのすべてを

1. わたしのすべてを おささげします
日々 主を愛して おゆだねします

* 主のために ささげます

わたしのすべてを ささげます

2. わたしのすべてを 主のものとして
みたまのちからに 満たしてください

* (くりかえし)

13 御手の中で

1. み手の中で すべてはわかる賛美に
わがゆく道を 導きたまえ
あなたのみ手の中で
2. み手の中で すべてはわかる感謝に
わがゆく道に あらわしたまえ
あなたのみ手のわざを

新聖歌37番 「主よいのちの言葉を」

- 1 主よ いのちの ことばを
与えたまえ わが身に
われは求む ひたすら
主より賜(たま)う 御糧(みかて)を
- 2 ガリラヤにて 御糧(みかて)を
分けたまいし わが主よ
今も活(い)ける ことばを
与えたまえ 豊かに

アーメン

使徒信条(しとしんじょう)

われは天地の造り主、全能の父なる神を信ず。
われはそのひとり子、われらの主、イエス・キリストを信ず。
主は聖霊によりて宿(やど)り、処女(おとめ)マリヤより生まれ、
ポンテオ・ピラトのもとに苦しみを受け、
十字架につけられ、死にて葬られ、陰府(よみ)にくだり、
三日目に死人のうちよりよみがえり、
天に昇り、全能の父なる神の右に座(ざ)したまえり。
かしこより来たりて生ける者と死にたる者とをさばきたまわん。
われは聖霊を信ず。
聖なる公同の教会、聖徒の交わり、
罪の赦し、身体(からだ)のよみがえり、
永遠(とこしえ)のいのちを信ず。

アーメン

新聖歌49番 「しみも咎(とが)も」(聖餐式)

- 1 しみも咎(とが)も 汚れもなき
小羊わが主は ほふられしや
- 2 こは わがため 十字(じゅじ)の上に
釘(くぎ)もて裂かれし みからだなり
- 3 こは わがため のろい受けて
流させたまいし 君(きみ)が血なり
- 4 こは わがため 与えたもう
いのちの糧(かて)なり 飲みものなり
- 5 なつかしくも 見失(う)せし主は
まもなく再び 来たりたまわん
- 6 その時まで 十字架を負(お)わん
救いの恵みを 喜びつつ アーメン

新聖歌396番 「慕いまつる主の」

- 1 慕(した)いまつる主の 御招(みまね)きある今
十字架 担(にな)い行かん 愛する主の後(あと)を
* 何処(いづく)までも行かん 何処(いづく)までも行かん
何処(いづく)までも行かん 愛する主の後(あと)を
- 2 血潮(ちしお) 混(ま)じる汗(あせ) 流し 祈る主の
ゲッセマネにも行かん 愛する主の後(あと)を * (くりかえし)
- 3 打たれ ののしられ 辱(はずかし)め 受くる
ひとまえにも行かん 愛する主の後(あと)を * (くりかえし)
- 4 君の御恵(みめぐ)みに 浸(ひた)りし わが身は
栄え 望み 行かん 愛する主の後(あと)を * (くりかえし)

アーメン

主の祈り

天にまします われらの父よ。

ねがわくは 御名をあがめさせたまえ。

御国(みくに)を来たらせたまえ。

御心(みこころ)の天になるごとく、地にもなさせたまえ。

われらのにちようの糧(かて)を今日も与えたまえ。

われらに罪をおかす者を、われらがゆるすごとく、

われらの罪をもゆるしたまえ。

われらをこころみにあわせず、悪より救いだしたまえ。

国(くに)と力(ちから)と栄え(さかえ)とは、

限りなく 汝(なんじ)のものなればなり。

アーメン

新聖歌60番 「天地(あめつち)こぞりて」

あめつち こぞりて

かしこみたたえよ

みめぐみ あふるる

父 御子(みこ) 御霊(みたま)を

アーメン